

日本共産党議員団（川村よし子町議、小川ふみこ町議）の実績

町民の願いを町政に届け 町民の身近な相談相手

町民の願いに心よせ、
要求実現のために奮闘

日本共産党矢巾町委員会と川村町議、小川町議は、昨年12月、矢巾町でアンケートを実施し、町民のみなさんの思いや要求をつかむ努力をしてきました。2月にはアンケートの結果をまとめて町民のみなさんにお届けしました。

町民のみなさんの要求を実現するため、町に予算要望をおこなってきました。昨年11月の予算要望では、重点項目として、①18歳までの医療費助成、保育料軽減、待機児童解消、学校給食半額助成。②国保税年間1世帯1万円の引き下げ、介護保険料の引き下げ。③町営住宅早期改修と単身者が入居可能な条例改正などを要望しました。

毎議会、一般質問をおこなって要求実現

川村町議と小川町議は、毎議会、一般質問に立ち、子ども医療費助成、介護保険制度、通学路の安全対策、ごみ

処理広域化計画、農業政策など、町民が安心・安全にくらすことができる矢巾町の実現のために奮闘してきました。4年間で実現した成果は次の通りです。

●子どもの医療費助成は、今年の4月から18歳、高校卒業まで実現しました。



●町営住宅の早期改修をもとめてきましたが、今年は風張住宅の改修が決まっています。全戸に換気扇の設置を実現しました。故障している場合は、町に申し出れば改修ができます。網戸の設置も実現してきました。

●駅前開発の問題点をとりあげ、改善を求めてきました。①児童福祉法にもとづき、やはぱーくの子育て支援センターの設計を改善させました。②中央階段の防火扉を設置させました。③計画ではな

かった来館者用の駐車場を設置させました。問題点や改善点については日本共産党の「矢巾民報」でお知らせしてきました。

●火葬場の黒煙対策を求め、一部改修を実現しました。

●全世帯に保険証の発行を求め、滞納世帯でも、子どもがいる世帯には発行することになりました。

●学校、公共施設のトイレの洋式化を他の議員とともに取り組んできました。

●大型事業が続くなか、生活関連道路の整備・改修をもとめてきました。

●3月15日からデマンド型乗り合いタクシートの試験運行を開始。高齢化が進むなか、気軽に通院や買い物ができる乗り合いタクシーが求められています。他の議員とともに、その実現に努力し、改善を求めてきました。

●犬、猫の殺処分ゼロを実現、動物愛護の普及に努めました。

平和を守るため
毎週、毎月宣伝行動

2015年に安倍政権は戦争法（安全保障関連法）を強行可決し、自衛隊がアメリカ軍と海外で武力行使ができるようにしました。

日本共産党の支部と川村町議、小川町議は、法案反対のたたかいを継続させ、法案が強行可決された毎月19日に、憲法を守れ”の宣伝行動をおこなっています。また、毎週月曜日の朝に街頭宣伝をおこなっています。



困りごとは
気軽ににご相談を

川村・小川両町議は町民のみなさんの相談にのっています。お気軽にご連絡ください。